



学校だより

第 130 号 平成 30 年 1 月 30 日

平成 29 年度 学校評価アンケートから

校長 桐山 直人

平成30年、新しい年の学校だよりです。本年も、本校の教育活動へのご協力をお願いします。さて、学校評価アンケートに、196 = 家庭数の67%（昨年度77%）の回答をいただきました。各家庭からの評価の集計結果は次のようになりました。

*いずれもパーセント

4年間の目標	1年間の目標 アンケート用、問い形式に書き換えたもの	肯定的 =AB	否定的 =CD	分からない =E
1. 自立と社会参加に向けた教育課程を編成する	個別教育計画は、学習内容と評価がわかりやすく記載されていましたか？	98	2	0
	おさんは人との関わり方、ルールやマナーの理解、困ったときの対応についての学習が身につきましたか？	81	12	7
2. 障害や発達に関わるニーズに応じた適切な教育支援を行う	おさんの特性や発達段階に合った教材で学習することができましたか？	89	9	2
	おさんは、持っている力を発揮し、さらに伸ばしていく学習ができましたか？	88	9	3
3. キャリア教育の視点を定着させる	おさんは「自分について」「相手について」「周りの状況について」「時間について」考える力が育っていますか？	66	22	12
	進路についての情報はおさんの現在あるいは将来の進路選択に役立っていますか？ 進路指導は適切に行われていますか？	71	13	16
4. 地域のセンター機能充実によりインクルーシブ社会形成を促進する	学校だより、支援だより、ホームページの発信等によって、様々な場面で学校と地域が連携しながら取り組んでいる様子が伝わりましたか？	88	4	8
	学校だより、支援だより、ホームページの内容が、地域の学校や住民の皆様の障害理解につながる内容で発信できていましたか？	72	10	18
5. 保護者・地域から信頼を得られる学校運営を行う	おさんは安心・安全に学校に通えていますか？ また、おさんの様子について学校と相談できていますか？	93	6	1
	防災の手引きやホームページ、また、校外学習・宿泊学習のお知らせ等で、校外で災害が起きたときの対応が、分かりやすく示せていましたか？	86	7	7

肯定的評価が一番多かったのは「1 - 教育課程」で98%、一番少なかったのは「3 - キャリア教育」で66%でした。否定的評価が一番多かったのは「3 - キャリア教育」で22%でした。「3. キャリア教育 - 」は1割以上が「分からない」との評価でした。今後の課題としたいと思います。「4. センター機能」は、昨年度「分からない」が24%と31%だったのが、8%と18%に減っています。実施と周知が進んだものと考え、今後の学校運営に活かしていきます。アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。